



NPO法人 ゆいネット北海道

会報 Vol.2

ご挨拶

NPO 法人 ゆいネット北海道は 2012 年 9 月 に設立以降、性暴力被害者支援センター北海道 SACRACH 《さくらこ》の運営をはじめとして、順調に活動が出来ましたのも、ご協力ご支援をしてくださる皆様のおかげと感謝申し上げます。医療、司法、教育、行政など様々な職種の専門家の皆さまのたゆまぬご努力により、3 年目を迎えることが出来ますことを、関係者一同心よりお礼申し上げます。

当会の母体である「ゆいネット北海道」は、2008 年に公益社団法人日本女医会の「十代の性の健康支援」事業の一環として発足しました。「ゆいネット」という名前には、女性や子どもの健康支援に携わる各機関や組織がお互いを“結ぶ”という意味が込められています。この「ゆい」という絆はこれから益々深く強くしっかりと根をはり、沢山の果実が子どもや女性を助けるでしょう。子どもや女性に優しい社会はすべての人にも優しい社会であることは間違いありません。

私たちが運営している《さくらこ》には、誰にも打ち明けられないまま悩みを抱えている方からの相談が寄せられていますが、中には専門家の迅速な対応と協力を必要とする深刻な事例もあり、各分野の専門家との幅広い連携の必要性を痛感しています。

性暴力は、女性の心身を深く傷つけ、生涯にわたって影響を及ぼす重大な人権侵害であり、事件後の早い段階から、心身の救済と尊厳の回復を図る措置がとられることが必要です。性暴力被害に遭われて悩んでいる方が《さくらこ》に繋がるように、《さくらこ》の存在を多くの方々知っていただくような活動をしていかなければならないと思っています。

つきましては、当会の活動をご理解・ご賛同いただくとともに、ご寄付および活動協力をお願いいたく存じます。何とぞ宜しくお願い申し上げます。



2014 年 10 月吉日

NPO 法人 ゆいネット北海道 理事長 堀本江美

目次

ご挨拶	p1
性暴力被害者に対する支援活動について	p2、5
相談システム／あなたにできること	p3、4
チャリティーコンサート、山本先生ご講演、出前講座	p6
ゆいネット北海道 活動の軌跡／今後の主な予定	p7
ご寄付・賛助会員登録のお願い	p8



性暴力被害者に対する支援活動について

● 性暴力被害者支援センター「SACRACH《さくらこ》」運営委員会発足

《さくらこ》の活動がスタートして2年が過ぎ、相談を受けた支援員から専門家、専門機関への速やかな相談や橋渡し、多職種での協働を必要とする重大なケースが増えてまいりました。そうしたケースへの対応をより効率的・効果的に行うべく、2014年4月、医療、法律、福祉等の各専門家を中心とした「《さくらこ》運営委員会」を発足させました。

これにより、緊急対応を要するケースについても、運営委員を中心にチームを作り、迅速に支援を開始することが可能になりました。また、情報の安全な共有と各専門知識の集約が可能となり、より質の高い支援が可能となりつつあります。現在はおよそ2か月に一度定期的に運営会議を行っており、そのほか急を要するケースについてはその都度臨時の会議を行っております。運営委員以外の関連機関担当者などにも参加いただいで「《さくらこ》カンファレンス」を年2回実施し、さくらこの活動への助言をいただいでおり、大変心強く感じております。運営委員会を中心として、これからも迅速かつ充実した支援が提供できるようなシステムの構築に努めてまいります。

● 性暴力被害者支援センター「SACRACH《さくらこ》」の性暴力被害者支援

どんな形でも、あなたが望まない性的行為は性暴力です。性暴力はあなたに対する著しい人権侵害であり、犯罪行為です。例えば、レイプ、性虐待、痴漢、盗撮、性器を見せられる、のぞきなどのほか、直接的な脅迫だけでなく立場を利用するなどして、売春、援助交際、ポルノに出演させることなど、これらはすべて性暴力です。

性暴力を受けると、恐怖や不安で混乱したり、恥や自責感から、すぐには誰かに助けを求めることができない人もいます。また、加害者の約9割が家族や交際相手、友人などの顔見知りであるため、警察への届け出や相談をためらいがちになります。性暴力を受けたことにより、心身ともにその後の人生を大きく左右されかねません。被害後できるだけ早くこころとからだのケアを受けることは、早期の回復につながります。

SACRACH《さくらこ》では、性暴力被害者支援の研修を受けた相談支援員と、産婦人科医、精神科医、小児精神科医、弁護士(すべて女性)、児童相談所などの専門職がチームを作り、被害に遭われた方に寄り添い、その方の意思を最大限尊重した支援を行っています。

● 性暴力被害者支援センター「SACRACH《さくらこ》」のこれまでの支援

相談件数

	24年度 10/1~3/31	25年度 4/1~3/31	26年度 4/1~9/30	合計
新規相談	72	118	63	253
再相談	19	97	151	267
計	91	215	214	520

相談内訳

	24年度 10/1~3/31	25年度 4/1~3/31	26年度 4/1~9/30	合計
強かん	18	76	87	181
強制わいせつ	2	43	17	62
性虐待	18	20	23	61
DV	9	17	1	27
その他の性被害	13	10	6	29
その他	31	49	80	160
合計	91	215	214	520

H26年度9月末までの実績をH25年度と比較すると、新規相談件数は横這いながら、再相談を含めた総相談件数では半年で、すでに前年度並みになっております。

また、相談内容では強かんの相談件数が1/3を占めていますが、強制わいせつのほか性虐待も少なくはありません。

年齢別の集計はここには掲載していませんが、被害者の年齢は19歳以下が半数を占めています。

SACRACH 相談システム

まずはお電話ください
050-3786-0799

Q. 相談員は
女性ですか？

A. 全員女性です。

あなたのお話を
聞きます。

一緒にできることを
考えます。

産婦人科、精神科、小児科、
弁護士等、性被害を理解して
いる協力機関へご紹介します。

Q. 相談員は
どんな方ですか。

A. 講習を修了した
性暴力被害支援
専門スタッフです。

希望者には警察・病院への
付き添いも行います。

カウンセリングが必要な方は
相談を継続できます。

電話相談	月～金 13:00～20:00 (土日祝祭日、12/29～1/3を除く)
面接相談	1回30分 無料
付き添い支援	電話または面接相談をご利用の方には、関係機関(病院、弁護士、警察、区役所など)への付き添い支援を行っています。
協力機関の紹介	産婦人科、精神科、小児科、弁護士等、性被害を理解している協力機関へご紹介します。
ホームページ	http://www.sacrach.jp/



あなたにできること

ご家族、周囲の方へ

もし、あなたの身近な方が性暴力被害を受けたら、ショックを受け、怒りや悲しみに混乱するかもしれません。でも、あなたの混乱が被害を受けた本人に伝わると、被害者はますます追い込まれてパニックに陥ります。まず、あなたが落ち着いて冷静になることが必要です。そして、できるだけ早く専門の相談機関に相談しましょう。早ければ早いほど、被害を受けられた方の早期救済・回復につながります。

見守ってください。

励ましや過剰な心配は本人がつかなくなるだけです。
本人の意思を尊重して見守ってください。

信じてあげてください。

こころとからだの回復にかかる時間には個人差があります。
本人の回復力を信じて温かく支え続けてください。

責めないでください。

被害者本人を責めないでください。
被害者には落ち度も責任もないことを
繰り返し伝えてください。
悪いのは加害者です。



ご家族・被害者を支えているあなたも相談してください。

「どうやって被害者を支えていいかわからない。」
「話を聞いたら辛くなってしまった…。」
こんな思いを感じている方がいるかもしれません。

あなたのためにも、被害を受けた方のためにも、
辛い思いを抱えていたらぜひ相談をしてください。



<http://www.sacrach.jp/>

● 性暴力被害者支援に携わる支援者、専門職の養成・教育講座

☆ 2014年7月26日、27日、9月27日、28日の4日間にわたり開催した、**性暴力被害者アドボケーター養成講座**には、57名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。



☆ 2014年11月30日（日）には、北海道主催で「**性虐待被害児の診察トレーニング講習会**」が開かれます。これに先立ち、11月29日（土）に、医師を対象に「**性暴力被害者の診察のノウハウを語り合うタベ**」と題して講習会を開催します。道内の小児被害者の実態やSACRACH《さくらこ》で扱った深刻な事例についての検討、小児被害者の診察のコツなどについてご紹介いたします。

「性暴力被害者の診察のノウハウを語り合うタベ」

日時：平成26年11月29日（土）19：00～22：00

場所：札幌グランドホテル

会費：4000円

「性虐待被害児の診察トレーニング講習会」

日時：平成26年11月30日（日）9：30～17：00

場所：札幌環境プラザ環境研修室1・2

（札幌エルプラザ内）

どちらも事前申し込みが必要です。お問い合わせください。

【申込・問い合わせ先】

NPO法人ゆいネット北海道（担当：小野寺）

TEL・FAX 011-768-8600（電話は平日13:00～18:00）

E-mail : yuinetkensyu@yahoo.co.jp

● 警察、児童相談所、病院、大学などとの連携強化



警察庁の方々との会議にて

《さくらこ》ではこれまでも北海道、札幌市、北海道警察、弁護士「さくらネット」、北海道中央児童相談所、札幌市児童相談所などと協力して性暴力被害者の支援にあたってまいりました。現在は、産婦人科、精神科、小児科の医療機関の協力を得ています。また、札幌とその周辺で活躍されている臨床心理士の方々とのネットワークづくりも始まっております。私たちの活動は私たちだけで成り立つものではなく、多くの関連機関のご協力や地域でのご理解があって初めて成り立つものです。そのため、定期的に活動を見直し、まとめ研究しながら、活動の内容を広く発表していくことも必要と考えます。

本年度は、札幌市立大学のご協力を得て昨年までのさくらこの活動をまとめ、第33回日本思春期学会にて発表いたしました。

今後もこうした活動を続け、更なるネットワークの充実を目指していきたいと考えております。



● 設立 1 周年記念チャリティーコンサート

2013 年 10 月 6 日に札幌交響楽団コンサートマスターでヴァイオリニストの大平まゆみさん、ピアニストの今井徳子さんによるチャリティーコンサートを開催しました。

約 260 名の方にお越しいただき、あたたかく優しいヴァイオリンとピアノの音色を楽しんでいただくことができました。ご出演いただきました大平まゆみさん、今井徳子さんをはじめ、ご来場およびご寄附下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。



《ボランティアとして参加した札幌医科大学女子医学生の感想》

NPO 法人ゆいネット北海道設立 1 周年記念コンサートに、学生ボランティアとして参加させていただきました。当日は早くから、ゆいネットの関係者の方々や北海道女性医師の会の先生方をはじめ、会場のグランドホテルの方々、大学生など、たくさんの人が集まりコンサートの成功に向け全員が心を熱く、準備に追われていました。

ヴァイオリニストの大平まゆみさんは札幌交響楽団のコンサートマスターで、また様々な施設での演奏活動等、道内外で広くご活躍されており、ご来場の方々も大変楽しみにいらしているようでした。実際の演奏でも、大平さんの温かい人柄があらわれたとても優しい音色を、会場をご自分で歩いて回りながらお聞かせいただきました。曲目は、

日本の童謡からクラシックまで老若男女問わず楽しめるものばかりで、1 曲ごとに会場全体が一つになっていくかのような心地よさを感じることができました。個人的には、大平さんが留学中によく弾いていたというタイスの瞑想曲が、私自身、受験期によく聴いていた大好きな曲でもあり、澄んだ音色がとても印象に残っております。また、手の届くような距離でプロの演奏家の方の演奏を聴くことができたことはとても嬉しく、貴重な経験となりました。



今回、学生ボランティアとして参加し大変貴重な経験をさせていただき、心から感謝しております。何より、この会にかかわるすべての方が本当に素晴らしい方で、そのような方々の集まりだからこそ NPO 設立から無事 1 周年を迎えられたのではないかと、一日を通し皆さんと関わる中で考えておりました。ゆいネット北海道の活動は、これからますます北海道の女性の安心にとってなくてはならないものになっていくと思います。私も一人の女性として、医学生として、またほんの少しでもお手伝いできることがあれば嬉しいです。

● 山本恒雄先生ご講演「性虐待被害児の支援システムについて」

2013 年 11 月 17 日に日本子ども家庭総合研究所の山本恒雄先生による、性虐待被害の現場からの実務的な支援のことについてお話しいただきました。児童相談所が被害児を保護しようとした際、親権者がこれに同意しない場合は児童福祉法 28 条に基づく審判を得て強制的に施設に収容することができること、その際の様々な配慮について具体的にご教示頂きました。この講演は SACRACH が児童相談所とどのように連携していくべきなのかを考えさせられるきっかけの一つになったものでもありました。

● 出前講座

子どもたちが自分の体の仕組みや安全について正しい知識を持つことは、子どもの自己肯定感を育てるとともに、あらゆる性暴力の被害から子どもたちを守るために大変重要です。

- ・ 性の健康と安全教育
- ・ デート DV 予防教育

出前講座をご希望の方は、お気軽に事務局あてにご連絡・ご相談ください。



ゆいネット北海道 活動の軌跡（2013年10月以降）

2013年度

2013年10月6日	1周年チャリティーコンサート
10月19日	北海道保険医会公開市民講座「女性が直面する性被害の実態は」 堀本理事長
10月29日	北海道子ども未来局 第1回未受診妊婦対策会議
11月9日-10日	性暴力被害者アドボケーター養成講座 前期
11月10日	性の健康医学財団公開講演シンポジスト 堀本理事長 新谷運営委員
11月12日	パープルライトアップ事業参加
11月18日	胆振総合振興局主催 児童虐待防止研修会講師派遣
11月28日	第9回さくらこカンファレンス
11月30日-12月1日	性暴力被害者アドボケーター養成講座後期
12月5日	第9回理事会
12月25日	国際ソロプチミスト札幌定例会にて卓話
2014年1月8日	デートDV防止・性教育に関する研修会（函館）講師派遣
1月23日	第10回理事会
2月6日	札幌高等裁判所主催の研修会講師派遣
2月13日	警察庁と打ち合わせ
2月19日	第11回理事会
3月12日	第12回理事会
3月27日	第10回さくらこカンファレンス・運営委員会準備会
3月31日	性の健康と安全教育出前講座（大谷高校）

2014年度

2014年4月14日	第13回理事会
4月18日	第1回スーパーヴィジョン
4月23日	第14回理事会
4月26日	第11回さくらこカンファレンス
4月29日	性暴力救援センター全国研修会（大阪）
5月25日	第2回 ゆいネット北海道総会
6月18日	第2回スーパーヴィジョン
6月19日	札幌医大打ち合わせ
6月28日	題2回さくらこカンファレンス、第2回さくらこ運営委員会、第15回理事会
6月30日	思春期保健ネットワーク研修会（江差保健所）講師派遣
7月1日	札幌市児童相談所打ち合わせ
7月9日	北海道、札幌市、道警、さくらこ 関係4者事務打ち合わせ
7月16日	デートDV 出前講座 藤女子大学
7月18日	第3回スーパーヴィジョン
7月26日-27日	性暴力被害者アドボケーター養成講座 前期
8月3日	北海道学校健康教育研究会 講師派遣
8月21日	北海道子どもの虐待防止協会勉強会 講師派遣
8月22日	臨床心理士との連携会議
8月23日	第3回さくらこ運営委員会 第16回理事会
8月30日	日本思春期学会発表（つくば）
9月3日	北海道、札幌市、道警、さくらこ 関係4者事務打ち合わせ
9月11日	匿名での証拠採取システム打ち合わせ会議
9月14日	全国保険医会 第29回医療研究フォーラム 講師派遣
9月21日	北海道母性衛生学会 講師派遣
9月27日-28日	性暴力被害者アドボケーター養成講座 後期

ゆいネット北海道 今後の主な予定

2014年10月4日	"人間と性"教育研究協議会いしかりサークル勉強会 講師派遣
10月5日	女性薬剤師会出席
10月17日-18日	日本女性会議参加
10月18日	北海道思春期学会参加
10月23日	警察庁と打ち合わせ
10月25日-26日	性暴力被害者支援に関わる看護職養成講座 前期
10月25日	第4回さくらこ運営委員会 第17回理事会
11月15日-16日	性暴力被害者支援に関わる看護職養成講座 後期
11月25日	小樽市保健所 研修会 講師派遣
11月29日	性暴力被害者の診察のノウハウを語り合うタベ 主催
11月30日	性暴力被害児童に対する診察技術向上のための研修会 北海道主催（講師 山田不二子医師）
12月5日	デートDV 出前講座（藻岩高校）
12月20日	第5回さくらこ運営委員会 第15回理事会
2015年1月9日	デートDV防止・性教育に関する研修会（北見）講師派遣
1月16日	デートDV防止・性教育に関する研修会（帯広）講師派遣

ご寄附・賛助会員登録のお願い

NPO 法人ゆいネット北海道は、北海道に性暴力被害者の支援のためのワンストップセンターを作ることを目指すとともに、子どもたちの健やかな成長を守るための勉強会や講演会も行っています。活動資金が不足しているため、皆様からのご寄附を必要としています。

また、私たちの活動理念に賛同して賛助会員として入会していただける方も募集しておりますので、事務局までお問い合わせください。

皆様からの暖かいご支援をお待ちしております。

お振込先	ゆうちょ	02700-4-98598	ゆいネット北海道
	ゆうちょ銀行	二七九支店 当座	0098598 ゆいネット北海道
	北洋銀行	北七条支店 普通	3993540 特定非営利活動法人ゆいネット北海道

ご寄附・賛助会員としてご支援いただいた皆様 (平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 31 日現在)

合田由紀子 足立柳理 阿部宏美 五十嵐由香里 石井香澄 石崎聖一 薄木宏一 遠藤征子 遠藤香織 大川由美 大島隆弘
大島美保 岡本真なみ 奥山春野 生越玲子 小野寺るみ子 上出利光 菅野範一 鬼頭拡美 木村小百合 國田裕子 黒川輝世
小葉松洋子 小林郁子 笹森由美子 佐藤静子 佐野仁美 澤田香織 篠田江里子 柴山ひろこ 城 和歌子 須田靖子
須田布美子 須藤 章 須見よし乃 関崎弘美 関寺美起恵 全 光子 高村泰子 津田喬子 長井 桂 中瀬俊枝
中村かおる 成田教子 二川原 桂 西岡利泰 日笠倫子 平出陽子 平山恵美 藤田ヨシコ 堀本江美 牧下徳子 松本伊智朗
三浦晶代 皆川のぞみ 三宅由美 宮崎千保子 宮崎みち子 宮本晶恵 向井ゆり 守内順子 守内恵子 守内哲也 守内玲寧
屋代通子 八代真由美 安田英里佳 山田典子 山中トシ子 山本明美 山本八千代 横関真由美 横山峰子 吉岡志織

愛育病院・(株)アインファーマシーズ・旭川療育センター小児科・アスカ製薬・足立皮膚科美容外科クリニック・荒木法律事務所
清田ウィメンズクリニック・ごきそレディースクリニック・国際ソロプチミスト札幌・コムファ・菜の花薬局・さくら耳鼻咽喉科
札幌こころの診療所・札幌市産婦人科医会・札幌中央ライオンズクラブ・札幌宮の沢脳神経外科病院・札幌臨床検査センター(株)
産科婦人科ひなたクリニック・(株)じょうてつケアサービス・市立札幌病院9階東病棟・しんたに内科消化器内科
泰伸データウェアハウス(株)・つがやす薬局苗穂店・とも耳鼻科クリニック・西尾皮膚科医院・(株)ニトリホールディングス
(株)日本レーベン・野幌病院・(株)函館フーズプランニング・東札幌病院・沖病院・東苗穂病院・北海道産婦人科医会
北海道循環器病院・北海道女性医師の会・本間内科医院・やんべ皮膚科

(敬称略・順不同・お名前掲載不可の方は記載しておりません)

助成金：公益財団法人ソロプチミスト日本財団

ご支援、ありがとうございました。

編集後記

ゆいネット北海道の活動も3年目を迎えることができました。時には深刻な事例に直面することもあり、さらに効率よく活動できるよう運営委員会を立ち上げました。それでもあまりの困難さに打ちのめされそうになることがあります。しかし被害にあった方の痛みや苦しみを想い、支援して下さる大勢の方たちの気持ちを感じることで、何か方法が必ずあるはずと信じて続けていくことができます。

不幸にして被害にあった方たちを温かく守り支えることのできる、ワンストップセンターとしての機能をもった施設を作りたいと思います。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

編集委員 藤根 美穂

NPO 法人ゆいネット北海道事務局

TEL / FAX 011-768-8600

HP : <http://yuinet-hokkaido.com>